

新潟病院 在宅チーム保健文化賞

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼人 中原 泉
編集日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025(267)1500



大学のシンボルマーク



感謝状をうける黒川チーム長 (10月25日・東京)



受賞祝賀会、チームメンバーが勢揃い (11月4日・新潟)

本学新潟病院の在宅歯科往診ケアチーム(チーム長・黒川裕臣教授)は、このたび第一生命保険(株)の第六十三回保健文化賞を受賞した。同チームの受賞は、平成十九年の新潟日報文化賞につづいて二度目となる。

第一生命保険株式会社は、権威ある賞として知られ、社が主催する保健文化賞は、昭和二十五年(一九五〇)に創設されて以来、保健医療、生活環境、高齢者および障害者保健福祉、少子化対策などの多岐分野において、著明な実績を残した団体と個人を表彰してきた。保健衛生の発展に寄与した人たちに贈られる最も

おおよび新潟県中越地震と中越沖地震などでは、在宅歯科往診ケアチームを編成して、被災者への応急歯科治療や口腔ケアなどを、被災者の口腔保健対策に貢献したことにより、本年度の同文化賞のトップで受賞した。感謝状贈呈式は、十月二十五日に東京のホテルオークラで行われた。

本学から中原泉理事長・学長、関本恒夫新潟病院長、黒川裕臣往診ケアチーム長が出席した。式では黒川チーム長に厚生労働大臣の表彰状、第一生命の感謝状と賞金、同賞の後援団体である朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団から記念品が贈呈された。天皇陛下より御言葉賜う翌二十六日には、黒川教授はじめ代表者十五氏は、皇居に参内して両陛下に拝謁し、天皇陛下より今回の受賞を祝う御言葉を賜った。

追って十一月四日には、新潟市のハミングプらは、新沼市のハミングプらで、中原学長、小倉英夫新潟生命歯学部部長、湯浅太郎理事、新潟県歯科医師会の片山修副会長、岡田耕衛県校友会

長、チーム長を務めた畑好昭名誉教授、江面晃教授はじめ病院関係者が集い、受賞祝賀会を催した。なお、本文化賞の賞金は、二〇〇万円は、在宅歯科往診ケアチームのさらなる充実のため、器材や備品の購入などに活用される。なお、本文化賞の賞金は、二〇〇万円は、在宅歯科往診ケアチームのさらなる充実のため、器材や備品の購入などに活用される。

伊勢村教授(新潟)最終記念講義

新潟短期大学の伊勢村知子教授の最終記念講義が、十一月二十五日午後四時よりアイヴィホールで開催された。演題は「唾液蛋白質からDNAへ―三十五年間の思い出―」で、教職員、新潟短期大学大学院医学研究科を卒業後、新沼生命歯学部生、同門会員など多数出席した。

伊勢村教授は、昭和三十九年に大阪大学理学部化学科を卒業後、新潟短期大学大学院医学研究科を卒業し、昭和五十二年に本学新沼生命歯学部生化学教室講師として赴任し、助教を経て、六十二年新潟短期大学教授に就任した。

△最終講義を終えて贈られた花束を手にする伊勢村教授

新沼生命歯学部 『日本e-Learning大賞』奨励賞

十一月二十一日、二十二日の両日に開催されたe-Learning Award 2011フォーラムにおいて、新潟生命歯学部とそのコンセプト開発会社(株)シー・エス・イーが応募した「次世代を担う医療従事者育成プログラム」理解度ギャップを埋める、参加型e-Learningシステムの活用(ソクラテス型授業およびキャストアカデミーの融合型)が、『日本e-Learning大賞』の奨励賞を受賞した。

この大賞は、企業・自治体・団体におけるe-Learningを用いた生産コストダウン、生産性向上・業務改革、また学校・個人においては、新しい

超高齢社会で歯科に求められる基礎疾患の知識と疾患の特徴に合わせた確かな臨床対応を網羅!!

高年齢者の治療を安全・安心に進めるために!

日本歯科評論 増刊2011

疾患を有する高齢者が来院したら?

好評発売中!

歯科医師・スタッフが知っておきたいポイント

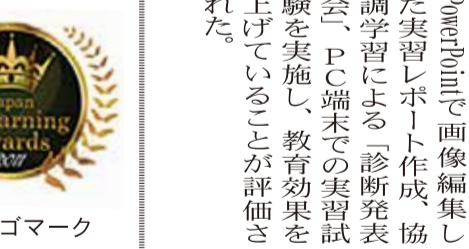
編者 佐藤 田鶴子 日本歯科大学 教授

■内容目次
脳卒中後遺症/うつ病(軽度)もしくはうつ状態/パーキンソン病/アルツハイマー病/糖尿病/脂質異常症/高血圧症/鉄欠乏性貧血/慢性心不全/感染性心内膜炎/関節リウマチ/慢性閉塞性肺疾患(COPD)/気管支喘息/気管支拡張症/誤嚥性肺炎/逆流性食道炎/胃炎/胃潰瘍/十二指腸潰瘍/慢性肝疾患(慢性肝炎、肝硬変など)/慢性腎臓病(血液透析導入時)/口腔以外の悪性腫瘍(担当患者)/帯状疱疹/骨粗鬆症/円背/失語症/高次脳機能障害/老眼/白内障/難聴

■執筆者(50音順)
大津光寛/佐藤 聡/佐藤 田鶴子/柴崎浩一/砂田勝久/松野智宣/両角祐子/山口 晃ほか

A4変判・194頁・オールカラー・定価6,090円(税込)

株式会社 **ヒョロン** パブリッシャーズ
〒101-0035 東京都千代田区神田船場15番地 神田TKMビル
Tel.03-3252-9261~4 http://www.hyoron.co.jp



受賞ロゴマーク

今回受賞した奨励賞は、最終審査会で今後の本学での活動を奨励するものとして高く評価された。

浅野一成 臨床研究生(東京・口腔外科)
大会会長賞受賞
十二月三・四日に開催された第十五回日本顎顔面インプラント学会において、生命歯学部口腔外

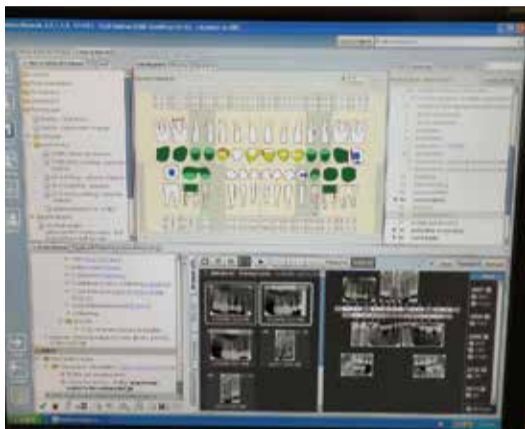
なお、本賞受賞者には上の受賞ロゴを提供され、ホームページ等でPRすることができる。

可塑性 Poly(L-lactic acid) バリアメンブレインによる骨誘導再生で、京大再生研(田畑泰彦教授)との共同研究で、今後のインプラント治療における臨床応用が期待される。

第24回 姉妹校交換学生



Dr. Sharを囲んでランチタイム



PCでの患者さん口腔内管理システム



箱根では人力車を初体験しました



Dr. Lodiaのホームパーティ
民族衣装で歓迎していただきました



小倉新潟生命歯学部、影山教授とともに

新潟生命歯学部
岡田 英恵
河野 茜
永井 悠太
倉治竜太郎

交換学生
石井マイケル大宜
上杉 華子

Dr. Sharif U. S. O. H. S. E.
Dr. Mark Norris
Dr. Mahesh Lodhia
Dr. Jeffery M. Coil
(同行教員)

北島佳代子(新潟生命歯学部
歯科保存学第一講座
准教授)

国際交流の啓発を目的として一九八六年(昭和六十一年)に始まった本学の交換学生制度は、毎年春に本学両学部の学生が、姉妹校のカナダ・ブリティッシュコロンビア大学(UBC)とアメリカ・ワシントン大学(UW)を訪れ、夏にUBCからの訪問を受け入れ、研修と親睦を図る本学独自の教育システムである。

二十四回目を数える今年、出発の前日に東日本大震災という未曾有の大惨事が発生し、一旦中止となったが、その後UBCの本プログラム担当Dr. Sharif U. S. O. H. S. E.

七月末にUBCから五名を受入れ、彼らの帰国と同時に本学から七名のUBCへの交換留学が実現した。これにより、本学からの派遣は総数一六三名、受入れは一七六名、総計三三九名を数えることとなった。

七月二十六日UBCの一行五名が来日し、八月一日まで東京に滞在した。歓迎昼食会、附属病院や学部施設見学の後、学生有志による箱根一泊旅行をはじめ、ディズニー

CRP研究発表会に参加した。広大な弥彦神社を参詣し、関原屋でのパーベキューを楽しんだ他、新潟祭りの三大イベントである民謡流しと市民御輿に参加し、花火大会を満喫した。

散りカナダでの生活がスタートした。UBCは夏季休暇中だったが病院の一部はオープンしており、幸いにも見学することができた。一フロアに百台はあろうかという診療ユニットに圧倒されるとともに、隣接して完備された中央滅菌室の無駄のない効率的な配置に感銘した。ユニットに完備されたパソコン上に歯周治療検査の結果を打ち込み、治療計画を立案し、治療結果と経過を管理するシステムは本学ではまだ導入されていないものであった。診療室での使用器材

に日本との違いを発見し、その背景にある保険医療制度の違いなども学ぶことができた。また、Dr. Irie Officeの見学機会にも恵まれ、口腔内カメラを導入した説明やCT/3Dシステムを用いた診療を実際の患者さんを通して見学させていただいた。歯科技術所では患者さんが技工士を訪れ、技工士が肉眼と機械による数値を参考にS. Irie Officeの様子を見学し、両国間での使用金属や陶材の違いについてのディスカッションで大いに盛り上がった。今回は夏季休暇中であつたため学生と接する機会は例年より多くなかつたが、昨年本プログラムで来日した交換学生とその友人が帯同してくれたり、ホームステイさせていただいた二人の交換学生と三人のドクターのご家族には本当にお世話になった。後半には、カナダの自然を満喫するスケジュールが組み込まれていたが、ご家族総出で入れ替わり同行してくださり、深い友好関係を築くことができた。最終日にはUBCに留学している日本人を交えて夕食会が開かれたが、他大学の彼らは、このプログラムと両大学間の深い友好関係に感銘した様子であつた。最後にS. Irie Officeから歯学部長名入りの修了証書と揃いのUBCのキャップを授与され、全日程を終了した。交換学生からは、歯科に関することばかりでなく、カナダの歴史や色々な国の文化的背景、宗教を知る事ができ、様々な人との出会い、種々の立場から見た物の考え方に触れ、非常に多くの刺激とすばらしい学びがあつた。

派遣と受入れ 総計三三九名に

七月二十六日UBCの一行五名が来日し、八月一日まで東京に滞在した。歓迎昼食会、附属病院や学部施設見学の後、学生有志による箱根一泊旅行をはじめ、ディズニー

CRP研究発表会に参加した。広大な弥彦神社を参詣し、関原屋でのパーベキューを楽しんだ他、新潟祭りの三大イベントである民謡流しと市民御輿に参加し、花火大会を満喫した。

散りカナダでの生活がスタートした。UBCは夏季休暇中だったが病院の一部はオープンしており、幸いにも見学することができた。一フロアに百台はあろうかという診療ユニットに圧倒されるとともに、隣接して完備された中央滅菌室の無駄のない効率的な配置に感銘した。ユニットに完備されたパソコン上に歯周治療検査の結果を打ち込み、治療計画を立案し、治療結果と経過を管理するシステムは本学ではまだ導入されていないものであった。診療室での使用器材

に日本との違いを発見し、その背景にある保険医療制度の違いなども学ぶことができた。また、Dr. Irie Officeの見学機会にも恵まれ、口腔内カメラを導入した説明やCT/3Dシステムを用いた診療を実際の患者さんを通して見学させていただいた。歯科技術所では患者さんが技工士を訪れ、技工士が肉眼と機械による数値を参考にS. Irie Officeの様子を見学し、両国間での使用金属や陶材の違いについてのディスカッションで大いに盛り上がった。今回は夏季休暇中であつたため学生と接する機会は例年より多くなかつたが、昨年本プログラムで来日した交換学生とその友人が帯同してくれたり、ホームステイさせていただいた二人の交換学生と三人のドクターのご家族には本当にお世話になった。後半には、カナダの自然を満喫するスケジュールが組み込まれていたが、ご家族総出で入れ替わり同行してくださり、深い友好関係を築くことができた。最終日にはUBCに留学している日本人を交えて夕食会が開かれたが、他大学の彼らは、このプログラムと両大学間の深い友好関係に感銘した様子であつた。最後にS. Irie Officeから歯学部長名入りの修了証書と揃いのUBCのキャップを授与され、全日程を終了した。交換学生からは、歯科に関することばかりでなく、カナダの歴史や色々な国の文化的背景、宗教を知る事ができ、様々な人との出会い、種々の立場から見た物の考え方に触れ、非常に多くの刺激とすばらしい学びがあつた。

た。カナダの親友と交わした「いつか世界の何処かでまた会おう」との約束は、日々の生活の大切な原動力となっている。等々の感想が寄せられた。本年はプログラムの中止も危ぶまれた中、関係各位のご尽力により、時期を移してこのような貴重な機会を与えていただきました。その重みを真剣に受け止め、深く感謝するとともに、来年二十五周年を迎えるという長きにわたる両大学間の友好の歴史が、これからも続くことを願わずにはいられません。本プログラム実施に尽力いただいた関係各位に、心より御礼申し上げます。(同行教員 北島佳代子)

た。カナダの親友と交わした「いつか世界の何処かでまた会おう」との約束は、日々の生活の大切な原動力となっている。等々の感想が寄せられた。本年はプログラムの中止も危ぶまれた中、関係各位のご尽力により、時期を移してこのような貴重な機会を与えていただきました。その重みを真剣に受け止め、深く感謝するとともに、来年二十五周年を迎えるという長きにわたる両大学間の友好の歴史が、これからも続くことを願わずにはいられません。本プログラム実施に尽力いただいた関係各位に、心より御礼申し上げます。(同行教員 北島佳代子)

た。カナダの親友と交わした「いつか世界の何処かでまた会おう」との約束は、日々の生活の大切な原動力となっている。等々の感想が寄せられた。本年はプログラムの中止も危ぶまれた中、関係各位のご尽力により、時期を移してこのような貴重な機会を与えていただきました。その重みを真剣に受け止め、深く感謝するとともに、来年二十五周年を迎えるという長きにわたる両大学間の友好の歴史が、これからも続くことを願わずにはいられません。本プログラム実施に尽力いただいた関係各位に、心より御礼申し上げます。(同行教員 北島佳代子)

た。カナダの親友と交わした「いつか世界の何処かでまた会おう」との約束は、日々の生活の大切な原動力となっている。等々の感想が寄せられた。本年はプログラムの中止も危ぶまれた中、関係各位のご尽力により、時期を移してこのような貴重な機会を与えていただきました。その重みを真剣に受け止め、深く感謝するとともに、来年二十五周年を迎えるという長きにわたる両大学間の友好の歴史が、これからも続くことを願わずにはいられません。本プログラム実施に尽力いただいた関係各位に、心より御礼申し上げます。(同行教員 北島佳代子)



住友生命歯学部長の歓迎昼食会



お礼には漢字の名前入り似顔絵を



中央滅菌室、お仕事中に失礼します



新潟祭では、お神輿もかつぎました!



UBCからの修了証書を手にポーズ